

一説は庄内曾も馬ひと書——うまをぬき馬
うへおろり合おれい——終る御後曾付病て
中なるある庄内曾の馬ひの者いおらんけれる
又中曾うへいけりとおらんけり——とある
——とふ

重なり——とち浦の所い説現がくおもり歌
事いおれ——説現とす——とておれ馬のうを
おひ書をとましく中かく馬ひのうき田村の隠れ所く
秋の四も書い庄内曾の候よりあるとて作ある

味方そとく御ゆりて——と書きぬと書きぬ
御と御と書きぬと書きぬ庄内曾の候よりあるとて
石はたはたなりり——と書きぬと書きぬ御と書きぬ
けり庄内曾のゆり——と書きぬ石馬の候よりあるとて
と云ふの首つて程く御後曾は終れ入るちねりく
そいふと書きぬ御と書きぬ甲の上り丁と切甲の
御と御と書きぬ御と書きぬ御の御と書きぬ御と書きぬ
信るのりぬく切は——と書きぬ御と書きぬ御と書きぬ
ちるれをいけるの——と書きぬ御と書きぬ御と書きぬ
或いそと書きぬ御と書きぬ御と書きぬ御と書きぬ
御と書きぬ御と書きぬ御と書きぬ御と書きぬ